

令和6年度

事業報告及び決算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人中山道広重美術館

目 次

令和6年度 事業報告及び附属明細書

1 事業概要	2
2 理事会に関する事項	6
3 評議員会に関する事項	7
4 登記事項	7
5 役員に関する事項	7
6 評議員に関する事項	8
7 職員に関する事項	8
8 附属明細書	8

令和6年度 決算書（財務諸表）

1 貸借対照表	10
2 正味財産増減計算書	11
3 財務諸表に対する注記	15
4 附属明細書	16
5 財産目録	19
6 監査報告書	20

第3号議案

令和6年度

事業報告及び附属明細書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人中山道広重美術館

I 事業報告

1 事業概要

市から指定管理業務を受託して10年目となる令和6年度は、開館以来最多となる22,628人の観覧入場者をお迎えし、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や、体験・学習などの仕組みを通じて、多くの皆様にさまざまな楽しみと満足感を持ち帰っていただくことができた。

8つの展覧会を企画した展示事業は、国民文化祭「清流の国ぎふ文化祭2024」関連行事として、10月3日から始まった秋季特別企画展「浮世絵おじさんフェスティバル」が、12月8日までの56日間に開館以来最多の8,006人の観覧入場者を集めた。「恵那市こども版画コンクール20周年記念広重賞作品展」も同時開催し、恵那市全体の観光客が増加する中、当館独自の企画が注目され、訪問先として多くのかたに足運んでいただくことができた。三代歌川豊国の画業を取り上げた春季特別企画展や年に一度の特別展観「溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内」のほか、「浮世絵グルメツアー」、「浮世絵鑑賞のすすめ」「“もっ”と愛でたい富士山」「狂歌とめぐる広重の東海道」「江戸名所ガイドブック」などの企画展も、広重の浮世絵が身近に感じられる分かりやすいタイトルと内容が好評であった。

教育普及事業は、大河ドラマを意識した「黄金期の浮世絵出版界」と題した連続6講座を開催した。また、第21回こども版画コンクールを、実行委員会形式から美術館が主体となる形に変更して開催。市内のこども園、保育園、小中学校から応募された2,236作品から選ばれた受賞、入選作品171点を展示した。版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、要請のあったこども園3園と小学校3校へ、延べ9日、のべ19人の版画経験講師を派遣した。

地元の企業に観覧料相当額をご負担をいただき、観覧者の入館料を無料とするスポンサー制度は、令和5年度に引き続き6企業からご支援をいただくことができ、毎週水曜日のフリーウェンズデーが3期目、毎週金曜日のフリーフライデーが7期目となった。水曜日と金曜日の観覧入場者は7,572人で、総観覧入場者の約33.5%を占め、無料入館者の増加に合わせてコロナ禍前に減少した有料入館者も大幅に増加した。

収蔵作品の購入は、財団の美術作品取得資金を活用して、広重最晩年の大作雪月花3部作の花に当たる「阿波鳴門之風景」を購入し、「武陽金沢八勝夜景」(令和4年度購入)「木曾路之山川」(令和5年度購入)と合わせ、雪月花3部作をすべて収蔵することとなった。

収益事業は、復刻版画や展示内容や季節に合わせた商品、当館オリジナルの「広重おじさん」関連商品などが好評で、館内とウェブショップの販売、共に令和5年度を上回る売上があった。

そのほか、歌川広重の浮世絵を収蔵する館同士として、「友好協力協定」を締結しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガとの交流では、当館学芸員2名が4月26日から30日にかけてマンガ館を訪問し、施設及び展覧会の視察、今後の共同事業に関する協議などを行った。また、11月29・30日には、館長が恵那市とともに先方の開館30周年記念式典に参加し、交流を深めた。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	没後160年記念 三代歌川豊国—「人物」と「街道」を描く	三代歌川豊国(初代国貞)は、江戸時代末期に最も人気を博した浮世絵師で、役者絵、美人画や名所絵など幅広い画題で筆をふるった。広重と深い親交があり、合作シリーズも手掛けている。本展では、街道物を中心に三代豊国の画業を紹介した。 観覧者数 3,925人	前期 4月4日(木)～ 5月6日(月・祝) 後期 5月10日(金)～6月16日(日)

2	溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内	「木曾海道六拾九次之内」を揃いで出陳する年に一度の展覧会。京から江戸の道のりや名所名物を紹介する地誌『木曾路名所図会』を読み解きながら浮世絵を通した中山道の旅を紹介。新規収蔵した広重晩年の名作「木曾路之山川」をお披露目した。 観覧者数 2,818人	8月29日(木)～9月29日(日)
3	浮世絵おじさん フェスティバル	浮世絵に登場する味わい深い名もなき人々を、当館では親しみを込めて「おじさん」と呼び、展覧会やグッズを展開してきた。今回は、歌川広重を中心とした浮世絵師たちが描いた個性豊かな「おじさん」たちを紹介し、見れば見るほど面白い浮世絵の知られざる“沼”へ案内した。 観覧者数 8,006人	前期 10月3日(木)～ 11月4日(月・祝) 後期 11月8日(金)～12月8日(日)

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	浮世絵グルメツアー	旅の楽しみといえば名所に土産物、そして美味しいご当地グルメ。江戸から諸国まで、浮世絵を通して全国のご当地グルメツアーへ案内した。 観覧者数 1,601人	6月20日(木)～7月21日(日)
2	浮世絵鑑賞のすすめ	最新ファッションを身にまとった女性や人気の観光地、見頃を迎えた花々や美しい鳥など、当時の「今」が詰まっている浮世絵を通じて「浮世絵って何？」から鑑賞を楽しむヒントまで紹介した。 観覧者数 1,929人	7月25日(木)～8月25日(日)
3	“もっと” 愛でたい富士山	江戸庶民の信仰対象とされた霊峰・富士山。季節や天候によりさまざまな表情を見せるその姿は、多くの人を魅了した。新年の寿ぎにふさわしい、思わず愛でたくなるような目出度い富士山の姿を紹介した。 観覧者数 1,150人	12月12日(木)～ 令和7年1月19日(日)
4	狂歌とめぐる 広重の東海道	機知に富んでクスッと笑える狂歌と共に、のびやかな風景描写を魅力とする「東海道五拾三次」(通称、狂歌入東海道)を、江戸から京までそろいで紹介した。 観覧者数 1,318人	1月23日(木)～ 2月24日(月・祝)
5	江戸名所ガイドブック	初代広重と二代広重が手掛けた江戸の名所、名店、名物を案内する絵本『絵本江戸土産』と名所絵から、江戸の観光スポットとともに江戸で生きた人々の文化や営みを紹介した。 観覧者数 1,881人	2月28日(金)～3月30日(日)
6	令和7年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和8年度 企画展に関する調査、研究		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座（全6回） 黄金期の浮世絵出版界	18世紀末を代表する版元や浮世絵師を各回取り上げ、江戸町人文化の隆盛と共に役者絵や美人画などの浮世絵版画が目覚ましく発展した天明・寛政期への理解を深めた。 4/13(土)「葛屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」池田芙美氏 5/11(土)「喜多川歌麿を味わう」山本ゆかり氏 6/8(土)「勝川春章と歌川豊国 役者絵の発展」渡邊晃氏 9/7(土)「江戸のヴィーナス 鳥居清長の美人画」田辺昌子氏 10/5(土)「葛飾北斎 知られざる顔」日野原健司氏 11/9(土)「東洲斎写楽研究の現状」浅野秀剛氏	
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に募集したが、希望者なし。	
3	ミュージアムナイト (夜間開館)	恵那市商店街連合会による「恵那納涼夏まつり盆踊りの夕べ」に合わせて午後8時まで無料開館とした。	8月14日(水)午後8時まで
4	夏休みイベント	①「浮世絵クイズ」に挑戦してみよう！ 浮世絵の基礎知識や出品作品に関連したクイズを出題 ②撮影スポットの設置 出品作品(拡大図)を背景に自由に撮影できるスポットを設置	浮世絵鑑賞のすすめ 7月25日(木)～8月25日(日)
5	こども版画コンクール応援講師の派遣	こども園3園と小学校3校から、こども版画コンクール参加作品制作授業に講師派遣の希望があり、延べ9日、延べ19人の応援講師を派遣した。	9月4・24・25日 11月1・13・22日 12月4・6・11日
6	第21回恵那市こども版画コンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとして実施。 応募総数2,236点、特別賞18点、奨励賞28点、入選125点、計171展を展示	作品展 2月18日(火)～3月2日(日) 表彰式(広重賞ほか特別賞及び奨励賞) 3月2日(日)
7	恵那市こども版画コンクール20周年記念広重賞作品展の開催と記念誌の制作	国民文化祭「清流の国ぎふ文化祭2024」の関連行事として、秋季特別企画展「浮世絵おじさんフェスティバル」の開催期間に歴代広重賞作品をメインラウンジで展示するとともに、市の補助金を活用して、コンクール20年の歩みをまとめた記念誌を制作した。	前期 10月3日(木)～ 11月4日(月・祝) 後期 11月8日(金)～12月8日(日)

3. その他の事業

1	企業に観覧料相当の金銭的負担をいただき観覧料を無料とするスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社で金曜日に、(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社で水曜日に実施した。スポンサー制度による水曜日と金曜日の観覧入場者は7,572人で、総観覧入場者の約33.5%を占めた。
2	財団で積み立てた美術作品取得資金を活用した作品購入 (歌川広重「阿波鳴門之風景」1点、11,000,000円)
3	国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流を行った。 4月26日から30日にかけて「友好協力協定」を締結しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガを当館学芸員2名が訪問し、施設及び展覧会の視察、今後の共同事業に関する協議などを行った。また、11月29・30日には、館長が恵那市とともに先方の開館30周年記念式典に参加し、交流を深めた。

4. 収益事業（収益事業会計）

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業（法人会計）

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
第1回理事会	令和6年5月23日	第1号議案	令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第2号議案	令和5年度収支決算書の承認について
		第3号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第4号議案	処務規程の変更について
		第5号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①定時評議員会への評議員選任議案の提出について ②定時評議員会への理事選任議案の提出について ③定時評議員会への監事選任議案の提出について ④理事長・副理事長・専務理事の選任案について
第2回理事会	令和6年10月9日	第1号議案	令和6年度補正予算書(10月補正)の承認について
		第2号議案	就業規程の変更について
		第3号議案	美術作品取得資金の取り崩し及び作品購入について
		第4号議案	臨時評議員会の招集について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②令和7年度展示・講座事業計画(案)について ③第21回恵那市こども版画コンクールについて ④基本財産の運用先の変更について
第3回理事会	令和7年3月11日	第1号議案	職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	令和7年度事業計画書の承認について
		第3号議案	令和7年度収支予算書の承認について
		第4号議案	令和7年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催と定時評議員会の招集(案)について ③スポンサー制度の申し込みにについて ④第21回及び第22回恵那市こども版画コンクールについて ⑤日本美術技術博物館マンガとの事業協力について

3 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
定時評議員会	令和6年6月11日	報告1	令和5年度事業報告について
		第1号議案	令和5年度決算書(貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書)の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	理事の選任に関する承認について
		第4号議案	監事の選任に関する承認について
		報告	①理事長・副理事長・専務理事の選任について ②令和5年度事業計画及び収支予算、職務執行状況について
臨時評議員会	令和6年11月14日	第1号議案	定款の一部変更について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	提案日(決議日)について

4 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和6年6月11日	岐阜地方法務局中津川支局	理事・評議員・監事の選任	令和6年6月27日
令和6年11月14日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員の選任	令和6年11月25日

5 役員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
理事長	1	長谷川 佳子	平成24年4月1日
副理事長	1	小嶋 初夫	令和2年6月9日
専務理事	1	伊藤 英晃	令和4年6月10日
理事	11	市川 彰	令和2年6月9日
		大塚 康芳	平成24年4月1日
		大畑 雅幸	令和6年6月11日
		小川 智明	令和2年6月9日
		纈 纈 満	平成27年6月19日
		河野 ほのみ	令和4年6月10日
		津田 卓子	令和6年6月11日
		西部 良治	令和2年6月9日
		長谷川 英司	平成30年6月7日
		服藤 知晃	令和6年6月11日
監事	2	堀 誠	令和4年6月10日
		西尾 三永子	令和6年6月11日
		村松 光則	令和4年6月10日

6 評議員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
評議員	13	阿部伸一郎	平成28年6月2日
		安藤俊幸	平成30年6月7日
		井口英一	平成24年4月1日
		市川祥子	平成28年6月2日
		大塩康彦	平成25年5月29日
		各務一彦	令和2年6月9日
		小坂幸光	平成28年6月2日
		後藤光男	令和4年6月10日
		菅原真弓	令和6年11月14日
		中島克子	令和2年6月9日
		鈴木幸宣	令和5年6月9日
		長瀬久美子	令和5年6月9日
		楨島春枝	平成24年4月1日

7 職員に関する事項

区分	担当	人数	備考
美術館長 (嘱託・事務局長)	統括	1	
事務職員	学芸係長	1	
嘱託職員	総務係長	1	
嘱託職員	学芸員	2	
嘱託職員	デザイナー	1	
嘱託職員	案内・ショップ	1	
臨時職員	案内・ショップ	1	
臨時職員	学芸補助	1	

8 附属明細書

令和6年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

第4号議案

令和6年度

決算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人中山道広重美術館

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許保管	171,500	161,500	10,000
現 金	0	80,161	△80,161
普通預金	19,684,993	28,851,242	△9,166,249
現金預金合計	19,856,493	29,092,903	△9,236,410
未収金	524,099	500,021	24,078
立替金	52,257	0	52,257
貯蔵品	13,086,525	10,005,147	3,081,378
流動資産合計	33,519,374	39,598,071	△6,078,697
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	100,000,000	103,581,700	△3,581,700
美術作品	32,609,164	21,609,164	11,000,000
基本財産合計	132,609,164	125,190,864	7,418,300
(2) 特定資産			
美術作品取得資金	1,000,000	11,000,000	△10,000,000
展示用備品取得資金	11,000,000	0	11,000,000
特定資産合計	12,000,000	11,000,000	1,000,000
(3) その他固定資産			
什器備品	1,505,690	1,491,091	14,599
ソフトウェア	0	450,000	△450,000
その他固定資産合計	1,505,690	1,941,091	△435,401
固定資産合計	146,114,854	138,131,955	7,982,899
資産合計	179,634,228	177,730,026	1,904,202
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,177,318	5,080,160	△2,902,842
預り金	211,725	374,177	△162,452
前受金	3,000,000	3,000,000	0
流動負債合計	5,389,043	8,454,337	△3,065,294
負債合計	5,389,043	8,454,337	△3,065,294
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			0
出捐金	100,000,000	103,581,700	△3,581,700
受贈美術作品	530,000	530,000	0
指定正味財産合計	100,530,000	104,111,700	△3,581,700
(うち基本財産への充当額)	(100,530,000)	(104,111,700)	(△3,581,700)
2. 一般正味財産	73,715,185	65,163,989	8,551,196
(うち基本財産への充当額)	(32,079,164)	(21,079,164)	(11,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(11,000,000)	(1,000,000)
正味財産合計	174,245,185	169,275,689	4,969,496
負債及び正味財産合計	179,634,228	177,730,026	1,904,202

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	986,576	1,293,000	△ 306,424
基本財産受取利息	986,576	1,293,000	△ 306,424
事業収益	64,928,361	58,914,325	6,014,036
指定管理事業収益	45,833,333	45,833,333	0
観覧料収益	7,215,340	4,118,740	3,096,600
美術品撮影料金等収益	133,100	211,200	△ 78,100
講座受講料収益	173,500	169,000	4,500
図録等販売収益	11,573,088	8,582,052	2,991,036
グッズ等売上収益	9,823,083	7,148,002	2,675,081
図録販売収益	1,750,005	1,434,050	315,955
特定資産運用収益	4,043	160	3,883
特定資産受取利息	4,043	160	3,883
受取補助金	4,100,000	3,800,000	300,000
受取地方公共団体補助金	4,100,000	3,800,000	300,000
受取負担金	3,000,000	3,000,000	0
受取負担金	3,000,000	3,000,000	0
雑収益	65,236	410,107	△ 344,871
受取利息	17,389	261	17,128
雑収益	47,847	409,846	△ 361,999
経常収益計	73,084,216	67,417,592	5,666,624
(2) 経常費用			
事業費	60,561,075	55,885,628	4,675,447
給料手当	4,055,640	2,263,723	1,791,917
任用雇賃金	16,745,429	16,913,026	△ 167,597
退職給付費	644,700	633,380	11,320
福利厚生費	3,450,755	3,221,828	228,927
研修費	51,716	277,230	△ 225,514
旅費交通費	284,620	244,690	39,930
通信運搬費	548,046	511,072	36,974
減価償却費	925,106	1,172,896	△ 247,790
備品購入費	428,994	162,901	266,093
消耗品費	1,219,973	1,592,012	△ 372,039
修繕費	1,158,850	199,650	959,200
印刷製本費	3,189,288	2,357,885	831,403
燃料費	6,060	12,298	△ 6,238
光熱水料費	8,104,704	5,254,360	2,850,344
賃借料	2,481,735	1,815,082	666,653
保険料	30,160	92,720	△ 62,560
諸謝金	531,000	602,370	△ 71,370

科 目	当年度	前年度	増減
租税公課	2,269,200	2,891,070	△ 621,870
食糧費	36,664	47,178	△ 10,514
委託費	7,405,806	9,824,346	△ 2,418,540
広告宣伝費	1,363,500	1,145,100	218,400
手数料	256,215	205,051	51,164
新聞図書費	47,720	90,296	△ 42,576
商品仕入費	5,092,639	4,274,668	817,971
雑費	232,555	80,796	151,759
管理費	3,800,000	3,852,766	△ 52,766
役員報酬	177,000	222,000	△ 45,000
任用雇賃金	1,209,050	1,213,157	△ 4,107
退職給付費	48,000	48,000	0
福利厚生費	199,407	191,494	7,913
旅費交通費	7,980	24,500	△ 16,520
通信運搬費	109,805	106,200	3,605
消耗品費	330	94,352	△ 94,022
印刷製本費	92,130	107,040	△ 14,910
光熱水料費	525,767	340,860	184,907
賃借料	342,775	376,800	△ 34,025
報酬	430,151	413,875	16,276
租税公課	10,730	2,150	8,580
支払負担金	72,000	72,000	0
委託費	405,160	480,518	△ 75,358
手数料	137,335	133,320	4,015
食糧費	4,560	0	4,560
雑費	27,820	26,500	1,320
経常費用計	64,361,075	59,738,394	4,622,681
評価損益等調整前当期経常増減額	8,723,141	7,679,198	1,043,943
当期経常増減額	8,723,141	7,679,198	1,043,943
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除去額	171,945	0	171,945
経常外費用計	171,945	0	171,945
当期経常外増減額	△ 171,945	0	△ 171,945
当期一般正味財産増減額	8,551,196	7,679,198	871,998
一般正味財産期首残高	65,163,989	57,484,791	7,679,198
一般正味財産期末残高	73,715,185	65,163,989	8,551,196
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 3,581,700	△ 2,078,800	△ 1,502,900
当期指定正味財産増減額	△ 3,581,700	△ 2,078,800	△ 1,502,900
指定正味財産期首残高	104,111,700	106,190,500	△ 2,078,800
指定正味財産期末残高	100,530,000	104,111,700	△ 3,581,700
III 正味財産期末残高	174,245,185	169,275,689	4,969,496

正味財産増減計算書（内訳表）

（単位：円）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用利益	986,576				986,576
基本財産受取利息	986,576				986,576
事業収益	54,496,208	12,023,538		△ 1,591,385	64,928,361
指定管理事業収益	45,833,333				45,833,333
観覧料収益	7,215,340				7,215,340
美術品撮影料金等収益	133,100				133,100
講座受講料収益	173,500				173,500
図録等販売収益	1,140,935	12,023,538		△ 1,591,385	11,573,088
グッズ等売上収益		10,273,533		△ 450,450	9,823,083
図録販売収益	1,140,935	1,750,005		△ 1,140,935	1,750,005
特定資産運用収益	4,043	0		0	4,043
特定資産運用収益	4,043	0		0	4,043
受取補助金	300,000	0	3,800,000		4,100,000
受取地方公共団体補助金	300,000	0	3,800,000		4,100,000
受取負担金	3,000,000	0			3,000,000
雑収益	3,000,000				3,000,000
受取利息	41,758	23,478			65,236
雑収益	14,976	2,413			17,389
雑収益	26,782	21,065			47,847
経常収益計	58,828,585	12,047,016	3,800,000	△ 1,591,385	73,084,216
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	52,095,879	10,056,581		△ 1,591,385	60,561,075
任用雇賃金	4,055,640				4,055,640
退職給付費	14,508,895	2,236,534			16,745,429
福利厚生費	548,700	96,000			644,700
研修費	3,077,852	372,903			3,450,755
旅費交通費	51,716				51,716
旅費交通費	284,620				284,620
通信運搬費	434,362				434,362
減価償却費	925,106	113,684			1,038,790
備品購入費	428,994				428,994
消耗品費	1,193,356	26,617			1,219,973
修繕費	1,158,850				1,158,850
印刷製本費	3,189,288				3,189,288
燃料費	6,060				6,060
光熱水料費	7,965,478	139,226			8,104,704
賃借料	2,481,735				2,481,735
保険料	30,160				30,160
諸謝金	531,000				531,000
租税公課	1,741,000	528,200			2,269,200
食糧費	36,664				36,664
委託費	7,312,848	92,958			7,405,806
広告宣伝費	1,363,500				1,363,500

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
表彰費	450,450			△ 450,450	0
手数料	44,812	211,403			256,215
新聞図書費	47,720				47,720
商品仕入費		6,233,574		△ 1,140,935	5,092,639
雑費	227,073	5,482			232,555
管理費			3,800,000		3,800,000
役員報酬			177,000		177,000
任用賃金			1,209,050		1,209,050
退職給付費			48,000		48,000
福利厚生費			199,407		199,407
旅費交通費			7,980		7,980
通信運搬費			109,805		109,805
消耗品費			330		330
印刷製本費			92,130		92,130
光熱水料費			525,767		525,767
賃借料			342,775		342,775
報酬			430,151		430,151
租税公課			10,730		10,730
支払負担金			72,000		72,000
委託費			405,160		405,160
手数料			137,335		137,335
食糧費			4,560		4,560
雑費			27,820		27,820
経常費用計	52,095,879	10,056,581	3,800,000	△ 1,591,385	64,361,075
評価損益等調整前当期経常増減額	6,732,706	1,990,435	0	0	8,723,141
当期経常増減額	6,732,706	1,990,435	0	0	8,723,141
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					
(2) 経常外費用					
什器備品除却額	171,945				171,945
経常外費用計	171,945				171,945
当期経常外増減額	△ 171,945				△ 171,945
他会計振替前当期一般正味財産増減額	6,560,761	1,990,435	0	0	8,551,196
他会計振替額	1,060,747	△ 1,060,747	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,621,508	929,688	0	0	8,551,196
一般正味財産期首残高					65,163,989
一般正味財産期末残高					73,715,185
II 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 3,581,700	0	0	0	△ 3,581,700
当期指定正味財産増減額	△ 3,581,700	0	0	0	△ 3,581,700
指定正味財産期首残高					104,111,700
指定正味財産期末残高					100,530,000
III 正味財産期末残高					174,245,185

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券であり、取得価格によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について
貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却について
什器備品・・・・・・・・・・定率法による減価償却を実施している。
ソフトウェア・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

該当なし。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
第32回東京都公募公債	103,581,700	0	103,581,700	0
奈良県令和6年度第3回公募公債	0	100,000,000	0	100,000,000
美術作品	21,609,164	11,000,000	0	32,609,164
特定資産				
美術作品取得資金	11,000,000	1,000,000	11,000,000	1,000,000
展示用備品取得資金	0	11,000,000	0	11,000,000
合 計	136,190,864	123,000,000	114,581,700	144,609,164

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
奈良県令和6年度第3回公募公債	100,000,000	100,000,000	0	0
美術作品	32,609,164	530,000	32,079,164	0
特定資産				
美術作品取得資金	1,000,000	0	1,000,000	0
展示用備品取得資金	11,000,000	0	11,000,000	0
合 計	144,609,164	100,530,000	44,079,164	0

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	12,110,656	10,604,966	1,505,690
ソフトウェア	4,640,280	4,640,280	0
合 計	16,750,936	15,245,246	1,505,690

7 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
奈良県令和6年度第3回公募公債	100,000,000	93,965,200	△ 6,034,800
合計	100,000,000	93,965,200	△ 6,034,800

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	交付者	前期末残	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
中山道広重美術館事業	恵那市	0	4,100,000	4,100,000	0	
合計		0	4,100,000	4,100,000	0	

9 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券により資産運用をする。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

金融商品の内容は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①会計処理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の会計処理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項なし。

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし。

12 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

2 引当金の明細

引当金は計上していない。

その他の固定資産明細書
什器備品

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価 償却額	当期除却額	減価償却 累計額	差引期末残高
網戸 H13. 7. 10	262,500	1	0	0	0	262,499	1
もぎりテーブル H13. 9. 14	343,140	1	0	0	0	343,139	1
展示用可動壁 H13. 9. 17	1,793,085	1	0	0	1	1,793,085	0
展示用可動壁 H14. 5. 17	557,613	1	0	0	0	557,612	1
展示用可動壁 H15. 4. 7	281,400	1	0	0	1	281,400	0
展示用可動壁 H15. 12. 1	924,000	1	0	0	0	923,999	1
学芸用パソコン H26. 12. 14	223,560	1	0	0	0	223,559	1
スキャナー H28. 2. 18	364,716	1	0	0	0	364,715	1
講座室エアコン H28. 6. 15	572,400	1	0	0	0	572,399	1
デジタルプリンター H29. 2. 17	779,112	1	0	0	0	779,111	1
ビジネスホン H29. 5. 22	459,000	1	0	0	0	458,999	1
ブラインド H30. 9. 18	137,916	1	0	0	0	137,915	1
レジスター H30. 10. 7	137,916	1	0	0	0	137,915	1
タッチテーブル H30. 12. 27	486,000	1	0	0	0	485,999	1
HMDスタンド 1 H30. 12. 27	194,400	91,014	0	5,043	85,971	194,400	0
HMDスタンド 2 H30. 12. 27	194,400	91,014	0	5,043	85,971	194,400	0
ナビルーム彫師PC H30. 12. 27	140,400	1	0	0	0	140,399	1
ナビルームAR用PC H30. 12. 27	132,840	1	0	0	0	132,839	1
大判プリンター H31. 3. 29	524,858	1	0	0	0	524,857	1
駅前看板 R2. 4. 22	415,800	1	0	0	1	415,800	0
映像投影機 R2. 11. 10	1,320,000	266,112	0	133,056	0	1,186,944	133,056
パソコン (デザイナー用) R4. 3. 25	101,970	24,431	0	24,430	0	101,969	1
パソコン (事務用) R4. 3. 30	109,780	26,302	0	26,301	0	109,779	1
スタンド式展示ケース R6. 3. 30	992,200	992,200	0	248,050	0	248,050	744,150
模擬版木 R6. 12. 1	398,200	0	398,200	33,183	0	33,183	365,017
新駅前看板 R7. 3. 28	263,450	0	263,450	0	0	0	263,450
合計	12,110,656	1,491,091	661,650	475,106	171,945	10,604,966	1,505,690

ソフトウェア

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価 償却額	当期除却額	減価償却 累計額	差引期末残高
ナビルーム彫師用ソフト H30.12.27	855,798	0	0	0	0	855,798	0
ナビルームAR用ソフト H30.12.27	784,482	0	0	0	0	784,482	0
情報ギャラリー映像ソフト R2.1.28	3,000,000	450,000	0	450,000	0	3,000,000	0
合計	4,640,280	450,000	0	450,000	0	4,640,280	0

固定資産合計

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価 償却額	当期除却額	減価償却 累計額	差引期末残高
什器備品	12,110,656	1,491,091	661,650	475,106	171,945	10,604,966	1,505,690
ソフトウェア	4,640,280	450,000	0	450,000	0	4,640,280	0
合計	16,750,936	1,941,091	661,650	925,106	171,945	15,245,246	1,505,690

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金の用に供している	171,500
預金	普通預金(十六)	運転資金の用に供している	19,684,993
未収金		公益目的事業 事業の未収入金 収益事業 事業の未収入金	524,099
立替金			52,257
貯蔵品	図録、パンフレット 販売用商品	公益目的事業 事業の貯蔵品 収益事業 販売用商品	13,086,525
流動資産合計			33,519,374
(固定資産)			
基本財産			
債券	奈良県令和6年度第 3回公募公債 野村 證券岐阜支店	公益目的保有財産であり公益目的事業の財源 として使用している	100,000,000
美術作品	美術作品 (購入)	公益目的保有財産であり公益目的事業に供し ている不可欠特定財産である	32,079,164
	美術作品 (受贈)	交付者の定めた用途に従い使用・保有してい る財産(公益)	530,000
基本財産合計			132,609,164
特定資産 美術作品取得資金	普通預金(十六)	美術作品及び展示用備品の取得資金として積 み立てている資産であり、資産取得資金として 管理している	1,000,000
展示用備品取得資金	普通預金(十六)		11,000,000
特定資産合計			12,000,000
その他固定資産			
什器備品	展示用可動壁等	公益目的保有財産として使用している	1,505,690
その他固定資産合計			1,505,690
固定資産合計			146,114,854
資産合計			179,634,228
(流動負債)			
未払金		各会計区分における費用の未払金、未払消費税	2,177,318
預り金		所得税、雇用保険料、社会保険料、市県民税	211,725
前受金		スポンサー負担金(6社・翌期分)	3,000,000
流動負債合計			5,389,043
負債合計			5,389,043
正味財産			174,245,185

監査報告書

公益財団法人中山道広重美術館

理事長 長谷川 佳子 様

令和7年5月8日

公益財団法人中山道広重美術館

監事 西尾 三永子 ㊞

監事 村松 光 則 ㊞

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び業務について、定款第25条の規定に基づき監査を行い、下記のとおり報告します。

1 監査方法及びその内容

- (1) 私たち監事は、理事及び事務局から業務の報告を受け、関係書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告について検討しました。
- (2) 私たち監事は、会計帳簿並びに関係書類の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について監査を実施いたしました。

2 監査結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告及びその附属明細書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。